

平成31年度 学校経営報告

都立青山高等学校長 小澤 哲郎

1 31年度の取組目標と方策

<p>(1) 学校経営</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <p>全教職員が学校経営に参画するとともに、企画調整会議が中心となって課題の解決に当たる。</p> <ul style="list-style-type: none">・Webアンケート、学校ホームページ、公式Twitter等を活用し、エビデンスを重視した学校経営・学習から生活、特別活動等までにおける生徒・保護者に係る情報の迅速な共有・自己申告に学校経営計画の具現化のための目標設定・体罰や個人情報漏えい等の服務事故の防止・企画調整会議の活性化、各教科との連携が必要な局面で企画調整会議に教科主任が参加・担当部署に関らず、学校行事等の運営への積極的協力・校内研修、進路職員会議等による教育課題の共有化・教育改革を見据えた教育課題の解決・ITによる業務の効率化による職員の負担軽減と在校時間の可視化によるライフワークバランスの重視 <p>(イ) 行政職員</p> <p>課題ごとに、管理職と一体となってPT方式によりその解決に当たる。</p> <ul style="list-style-type: none">・固定観念や前例にとらわれない柔軟な発想に基づく学校経営を行う・適正な予算編成・執行と財務管理の徹底・施設・設備の安全維持に要する業務の着実な推進・進路部、広報部、生徒部の多様な業務を財務面から支援・ITによる業務の効率化による職員の負担軽減とライフワークバランスの重視 <p>イ 施設・設備組織</p> <p>施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修改善を要する施設・設備については増改修要望を利用して学校経営支援センター、都立学校教育部と連携して安全な教育環境の維持改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・体育館に扇風機の設置・暑さ対策のため普通教室体育館・屋上プール等の窓の遮光フィルム貼付・自習室や廊下ラウンジの学習環境の整備・小会議室の設置（被服室の一部）・トイレ洋式化の推進・男子・女子更衣室、トレーニングルーム、柔道場、剣道場の改修及びプール照明のLED化・グラウンド、テニスコート防球ネットの整備・テニスコート人工芝の修繕・第二講義室床の張り替え
<p>(2) 学習指導・進路指導</p> <p>ア 学習指導等</p> <p>教員の専門性の向上と、国公立大学進学に対応した学習指導の展開を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none">・大学入試改革を見据えた自校作成問題の継続、校内学力テスト、定期考査の改善・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施

- ・管理職が指定した教員の授業見学の実施、指導教諭による授業公開の活用、特別講習等の継続
- ・英語教育推進校としての取組、ICT機器等を活用した新たな学習指導
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進、不読率の低減等、喫緊の教育課題に対応した学習指導
- ・オンライン英会話学習の継続、Tokyo Global Gateway（英語村）の活用

イ 進路指導

進路部と各学年が連携して計画的に進路指導を行うとともに、生徒一人一人の実態を教職員全員で把握し、各教科等での適切な指導を継続する。

- ・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析
- ・進路職員会議、ケース会議、進路研修会等を定期的開催
- ・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施
- ・各学年等を対象とした文化講演等の実施
- ・望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の実施

(3) 生徒の健全育成と心身の健康

ア 健全育成

教育活動の全般をとおして、公共心や道徳心、規範意識や社会貢献の意識を育むとともに、他者を思い遣る人間性を醸成する。

- ・あいさつ指導等の実施
- ・美化活動等の実施
- ・社会性の涵養に資する講話や指導の実施
- ・いじめ防止対策の実施
- ・自主自律の精神と民主主義を尊ぶ生徒会活動の指導
- ・異校種の児童・生徒との交流活動
- ・海外の生徒との交流

イ 心身の健康

学校保健計画に基づき、生徒の心身の健康づくりに資する取組を推進するとともに、個々の生徒に応じた指導・支援を行う。

- ・特別支援教育推進委員会の定例化
- ・カウンセリングや相談体制の強化
- ・合理的配慮や支援を必要とする生徒への支援
- ・スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーターを活用した相談体制の強化

(4) 特別活動

ア 行事等

学校行事のねらいを達成し、文化・芸術・運動等に生涯にわたり親しむ素地を培う。また、ホームルーム活動のねらいを達成するために、年間指導計画を立てる。

- ・進路実現に結びつく立志のための文化講演の実施
- ・文化・芸術に親しむ行事の実施
- ・防災に係る活動に親しむ行事の実施
- ・体育活動に親しむ行事の実施
- ・読書活動に親しむ行事の実施
- ・進路実現に向けた意識の高揚
- ・校内ビブリオバトルの継続実施
- ・Tokyo Global Gateway（英語村）を活用した英語体験学習の検討

<p>イ 部活動</p> <p>部活動への加入を奨励し、文化活動や体育活動をとおして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率95%以上 ・公的発表会等や外部指導員等の配置に必要な予算措置 ・事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底 ・顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等の実施 ・地域の小中学校、特別支援学校との部活動をとおしての生徒同士の交流活動の展開
<p>(5) 地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育等をテーマに、地域の外国大使館等と英語による講演等の文化活動や交流活動の展開 ・地域の特別支援学校との障害者スポーツをとおしての交流活動の展開 ・祭礼等の地域行事への参加や地域の清掃活動などの実施 ・地域や地域の企業、関係機関と連携した宿泊防災訓練の実施会活動の充実 ・港区立青山小学校・港区立青山中学校・東京都立青山特別支援学校との連携 ・近隣団体等との連携の強化
<p>(6) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを通じて、行事や部活動等の教育活動の情報発信を毎月更新 ・学校説明会、入試問題解説会等を年8回以上開催 ・近隣中学校等への出前広報活動の展開 ・中学生対象の体験授業（サマースクール）の実施 ・塾等への出前広報活動 ・デジタルサイネージやDVDを活用した学校PRの展開

2 成果と課題

<p>(1) 学校経営</p> <p><成果></p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議を中心として学校経営上の課題解決に取り組むことができた。また、各教科との連携が必要な局面で企画調整会議に教科主任が参加することで、情報共有を円滑に行えた。 ・学校評価アンケート等のIT化により、業務縮減を図るとともに、学習から生活、特別活動等までにおける生徒・保護者に係る情報を把握し、迅速な共有課題に対応することができた。 <p>(イ) 行政職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館棟、男女更衣室、トレーニングルーム、剣道場、柔道場、プールの天井窓の改修工事を完了し、教育環境整備など進学実績の向上に資する企画提案などを行い、学校経営に参画することができた。 ・積立金や部費等の私費の適正な管理を行うことができた。 <p>イ 施設・設備組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修改善を要する施設・設備について、所管の学校経営支援センターとの連絡・調整を行い、自習室の学習環境の充実・トイレ洋式化の推進、第二講義室の床の張り替え、体育館への大型扇風機設置・テニスコート整備等教育環境の整備

を図ることができた。

<課題>

- ア ・学校経営方針を踏まえ、教育活動の一層の成果を上げるために、進学実績向上に資する専門性の一層の向上に努める。
 - ・次期学習指導要領を見据えた教育課程の改善を進めグランドデザインの策定が完了した。新カリキュラムについては、1, 2 学年分を確定することができた。今後、3 学年の文理別カリキュラムの策定を行う。
 - ・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開が、一定程度できたが、エビデンスからは、ホームルーム活動や面談の実施の成果に課題があるクラス担任が22クラス中5人いる。昨年度は10人いたことを考えると課題は減少している。
- イ ・グラウンド整備が進んでいないので、人工芝生化と外構整備に取り組んでいく。
 - ・体育館の暑さ対策がまだ不十分であるため、空調設備の早期導入に向け本庁に働きかけていく。
 - ・トイレの悪臭対策を早急に行う必要がある。

(2) 学習指導・進路指導

<成果>

ア 学習指導等

- ・年間指導計画の改善を行い、単元ごとの到達目標を設定、教科会での進捗状況の確認・調整も行った。
- ・Webアンケートを活用した生徒による授業評価を年2回実施し、その結果を公表して、教員が指導の工夫・改善を図った。
- ・校長が指名する教員の相互授業見学を年2回実施するとともに、アクティブラーニングの公開授業を実施し、授業改善を図った。
- ・英語教育推進校として、オンライン英会話を7回、今年度は1, 2年生による、Tokyo Global Gateway (英語村) の活用などを行い、実践的な英語力の一層の向上に取り組んだ。その結果GTECのスコアは年々伸びている。

イ 進路指導

- ・東京大学現役合格者を2名、京都大学現役合格者を5名、難関国公立大学現役合格者を18名輩出し、進学指導重点校としての教育委員会の目標を達成することができた。国公立の医学部に3名の合格者を出せたことや、旧帝大を含めた合格者を33名出せたことで、さらなる飛躍が期待できる。
- ・国公立大学現役合格者を86名、輩出し、昨年度に続き、進学実績の向上を図ることができた。
- ・進路全体計画を策定し、校内学力テスト・外部模試・講習補習や面談等着実な実施を図った。
- ・進路職員会議を年6回実施し、模擬試験の分析や個に応じた指導方針を検討した。
- ・模擬試験の結果を踏まえ、生徒の苦手とする分野を把握した指導の重点化を図るとともに、校長が生徒を激励する訓話を行うなどして生徒の学習意欲を高めた。

<課題>

ア 学習指導等

- ・次期高等学校学習指導要領及び大学入試改革に対応した3年文理別カリキュラムの策定
- ・授業改善と個々の生徒に対応した補習・講習の一層の充実
- ・IT化した授業評価の結果を分析し、成果の挙がっている指導方法等を教科・学年で共有

<p>イ 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験ごとの志望者リストの作成と希望に応じた講習の実施 ・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析 ・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施
<p>(3) 生徒の健全育成と心身の健康</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の朝の立哨指導をはじめ、教員が挨拶指導を率先垂範し、礼節指導の充実を図った。 ・Webアンケートによるいじめ等に関する調査を年3回実施し、未然防止・早期発見に努め、自他の生命や人権を尊重する豊かな心や態度の育成を図ることができた。 ・スクールカウンセラーを活用したいじめ対策委員会や青山特別支援学校からのコーディネーターと連携した特別支援委員会を開催し、支援を必要とする生徒の情報を管理・共有し、指導・育成に役立て、継続的に生徒・保護者を支援した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の一層の定着 ・相談体制の一層の充実と生徒情報の共有 ・欠席の多い生徒へのスクールカウンセラー等を活用したメンタルケアの一層の支援
<p>(4) 特別活動</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の加入率は、7月、12月の両時点で96%と、多くの生徒が部活動に熱心に取り組んだ。 ・ラグビー部は東京都のベスト8に進出。 ・青山フィルハーモニー管弦楽団は文化部推進校として活躍（立川リッスルホールにて定期演奏会を開催） ・体育祭や外苑祭に積極的に取り組み、両行事とも多数の保護者、一般の見学があった。 ・生徒に幅広い見識や教養を身に付けさせるため、各学年を対象に文化講演を開催した。大野和士氏（都響音楽監督）、小林研一郎氏、スチュアート・ミラー氏（Googleマーケティング部長）をはじめ多くの著名人等を招いて講演を行い、生徒の志を高めることができた。 ・熊野神社祭礼、ボッサ青山、青山祭り等の協力を行い、地域社会との連携もできた。 ・新国立競技場のオープニングセレモニーに350名の生徒が運営者として参加した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都大会等における実績の向上 ・怪我の未然防止策の徹底や事故が起きた際の迅速かつ適切な対応
<p>(5) 地域貢献</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭礼等の地域行事への参加や地元小中学校・特別支援学校との交流をとおして積極的に社会に参加・貢献しようとする態度や共生社会への参加意欲を育成することができた。 ・地域の外国大使館等との国際交流を展開し、豊かな国際感覚や多様性を受け入れる態度を育成することができた。 ・オリンピック・パラリンピック2020東京大会を控え、ストリート装飾を港区立青山小学校・港区立青山中学校・東京都立青山特別支援学校と連携し実施 ・ストリート装飾については日本青年館、TEPIA、明治神宮外苑、ラグビーワールドカップ組織委員会、日本スポーツ振興センター、霞ヶ丘自治会等、近隣団体に審査委員を依頼し、地域連携の強化を図った。

<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域施設と連携した行事の一層の取組 ・地域の外国大使館と連携したパートナーシップ校等の形態による海外の高等学校との緩やかな推進事業（ニュージーランド ハットバレー・ハイスクールとの連携協定を締結） ・スペインのブリティッシュ・スクール オブ マラガと交流を行った。 ・港区立青山小学校・港区立青山中学校・東京都立青山特別支援学校と連携し進めているストーリー装飾の展示
<p>(6) 広報活動</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、授業公開、入試問題解説会を開催し、広報活動の充実を図った。 ・ホームページや都立高校合同説明会等を活用して、教育活動の特色等を発信した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内DVDや過去問題集等の広報予算の効率化及び縮減 ・デジタルサイネージを活用した広報活動の一層の充実

3 今年度の数値目標

		数値目標	31年度実績
1	難関国立大・国公立医大現役合格者	22	18
2	難関国立大学（旧帝大含む）現役合格者	26	33
3	国公立大学現役合格者	88	86
4	難関私立大学（早慶上理）現役合格者	100	216
5	外苑祭来校者	5,000	8,547
6	学校説明会参加者（年3回）	2,000	2,667
7	ホームページ更新回数	200	175